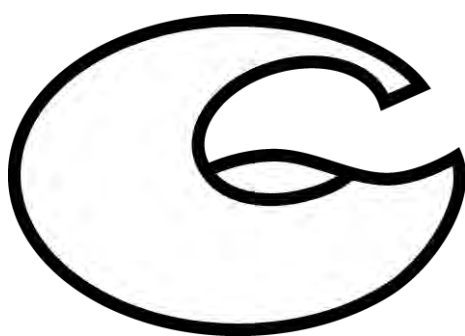


# 科目紹介



岐阜県立岐阜総合学園高等学校

# 必履修科目

## 地理歴史の科目

科目	歴史総合	単位数	2	受講年次	2年次	履修条件
科目の内容	<p>1 18世紀から現在までの近現代史を学習し、世界の変遷を通して「世界とそのなかの日本」を多面的・多角的に考察する力を身につける。</p> <p>1 国際関係から社会の編成，日常生活の具体的な姿や生産のあり方から，世界と日本の歴史的なつながりを学習する。</p> <p>2 近現代の歴史を「近代化」「大衆化」「グローバル化」の観点から世界と日本の動きを通して学ぶ。</p>					

科目	地理総合	単位数	2	受講年次	2・3年次	履修条件
科目の内容	<p>基礎的な地理的技能と知識を修得する。それをもとにして，世界の人々の生活や文化を総合的に学習し，世界が抱えている問題について理解を深める。</p> <p>1 地理的位置やグローバル化する世界を学習する。</p> <p>2 人間を取り巻く環境について学習する。</p> <p>3 世界の諸地域の生活・文化について学習する。</p> <p>4 GISなど地図情報システムを使って，地図について技能を身に付ける。</p>					

## 保健体育の科目

科目	体育β	単位数	2	受講年次	2年次	履修条件	体育α
科目の内容	<p>運動の合理的な実践と，健康安全についての理解を深め，自己の能力・適性に応じた運動を，生涯を通して実践する力を身に付ける。</p> <p>1 体づくり運動</p> <p>2 陸上競技</p> <p>3 球技</p> <p>4 体育理論</p>						

科目	保健β	単位数	1	受講年次	2年次	履修条件	保健α
科目の内容	<p>1 生涯を通じる健康 生涯にわたって健康に生きていくための意思決定・行動選択，社会環境づくりの大切さについて理解を深める。</p> <p>2 健康を支える環境づくり 健康を支える環境づくりや社会参加，適切な情報活用など，自他の健康を保持・増進する方法について理解を深める。</p>						

科目	体育γ	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件	体育β
科目の内容	<p>運動の合理的な実践と，健康安全についての理解を深め，自己の能力・適性に応じた運動を，生涯を通して実践する力を身に付ける。</p> <p>1 体づくり運動</p> <p>2 陸上競技</p> <p>3 球技</p> <p>4 体育理論</p>						

# 選択科目

## 国語の科目

科目	論理国語	単位数	2・2	受講年次	2・3年次	履修条件
科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、批評したり討論したりする。</li> <li>社会的な話題について書かれた論説文やその関連資料を読み、それらの内容を基に、自分の考えを論述したり討論したりする。</li> <li>学術的な学習の基礎に関する事柄について書かれた短い論文を読み、自分の考えを論述したり発表したりする。</li> <li>同じ事柄について異なる論点をもつ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする。</li> <li>関心をもった事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書や短い論文などにまとめたりする。</li> </ul>					

科目	文学国語	単位数	2・2	受講年次	2・3年次	履修条件
科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>教材は、近代以降の文学的文章とする。また、必要に応じて、翻訳の文章、古典における文学的文章、近代以降の文語文、演劇や映画の作品及び文学などについての評論文などを用いることがある。</li> <li>情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>文学的文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。</li> <li>文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解する。</li> </ul>					

科目	古典探究	単位数	4・2	受講年次	2・3年次	履修条件
科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</li> <li>古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</li> <li>古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。</li> </ul>					

科目	国語表現	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件
科目の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章と図表や画像などを関係付けながら、企画書や報告書などを作成する。</li> <li>説明書や報告書の内容を、目的や読み手に応じて再構成し、広報資料などの別の形式に書き換える。</li> <li>紹介、連絡、依頼などの実務的な手紙や電子メールを書く。</li> <li>設定した題材について多様な資料を集め、調べたことを整理したり話し合ったりして、自分や集団の意見を提案書などにまとめる。</li> <li>異なる世代の人や初対面の人にインタビューをするなどして聞いたことを、報告書などにまとめる。</li> <li>就職希望者向けの漢字等の国語常識に関する確認テストを実施する。</li> </ul>					

「論理国語」・「文学国語」・「古典探究」の3つを受講することが可能である

科目	<b>国語演習</b>	単位数	<b>1</b>	受講年次	<b>2</b>	履修条件	
科目の内容	文学国語の内容を中心に、現代の国語と言語文化をより発展させた内容を学習する。国公立大学の進学を考えている生徒の受講が相応しい。						

科目	<b>国語探究</b>	単位数	<b>1</b>	受講年次	<b>3</b>	履修条件	
科目の内容	文学国語の内容を中心に、現代の国語と言語文化をより発展させた内容を学習する。国公立大学の進学のために、共通テストの受験を考えている生徒や、難関私立大学（文系）の受験を考えている生徒の受講が相応しい。						

## 地理歴史・公民の科目

科目	<b>地理探究</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>地理総合</b>
科目の内容	<p>地理総合で身につけた系統地理や地誌的な技能や知識、物の見方・考え方をを用いて、学習者が様々なテーマを設定し、日本や世界の諸地域、地球的課題を考察する。</p> <p>1 系統地理的考察による様々な地理的事象にアプローチ  2 地誌的考察により地域から世界へアプローチ  3 日本の将来の国土像について総合的にアプローチ</p>						

科目	<b>日本史探究</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>歴史総合</b>
科目の内容	<p>歴史総合での学習をさらに深め、古代から現代までの通史を学ぶ。様々な事象を多面的・多角的に考察し、諸課題について探究する力を身につける。</p> <p>1 政治史・地域史・文化史などのテーマ別学習を、自ら問いを立て、多様な資料を活用して考察する。  2 世界史の中の日本史という視点も加えて、広い視野に立った学習をする。</p>						

科目	<b>世界史探究</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>歴史総合</b>
科目の内容	<p>歴史総合での学習をさらに深め、古代から現代までの世界の歴史の大きな枠組みと展開について理解し、地球世界の課題と展望を多面的な視点で見つめ探求する力を身につける。</p> <p>1 世界の各地域とそこに興亡した民族・国家の歴史の変遷を学習する。  2 地域史・文化史などを、現代と関連づけて学習する。</p>						

科目	<b>政治・経済</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	<b>公共</b>
科目の内容	<p>現代における政治・経済・国際関係などを様々な角度から理解できるよう、基本的な事項を身につけ、現代社会の諸課題を協働して探究し、解決しようとする力を養う。</p> <p>1 現代の政治  2 現代の経済  3 現代社会の諸課題</p>						

## 数学の科目

科目	<b>数学Ⅰβ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	<b>数学Ⅰα完了</b>
科目の内容	1年次で学習した数学Ⅰ・Aの復習と中級～受験用の問題演習を行う。 1 数学Ⅰ 2 数学A						

科目	<b>数学Ⅱα</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	<b>数学Ⅰ完了</b>
科目の内容	「数学Ⅰα」に続く内容として、幅広く学習する。 1 式と証明 2 複素数と方程式 3 図形と方程式 4 三角関数 5 指数関数と対数関数 6 微分法と積分法						

科目	<b>数学Ⅱβ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>数学Ⅱα完了</b>
科目の内容	1・2年次で学習した数学Ⅰ・Ⅱα・Aαの復習と中級～受験用の問題演習を行う。 1 数学Ⅰ 2 数学A 3 数学Ⅱ ※上級学校に進学する際、数学Ⅰ・Ⅱ・Aが入試科目にある生徒が選択する科目です。						

科目	<b>数学Ⅲ</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>数学Ⅱ完了</b>
科目の内容	「数学Ⅱ」より進んだ内容を学習する。 1 極限 2 微分法 3 積分法						

科目	<b>数学Aβ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>数学Aα</b>
科目の内容	1年次で学習した数学Ⅰ・Aの復習と中級～受験用の問題演習を行う。 1 数学Ⅰ 2 数学A ※上級学校に進学する際、数学Ⅰ・Aが入試科目にある生徒が選択する科目です。						

科目	<b>数学B</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	<b>数学Ⅰ完了</b>
科目の内容	「数学Ⅰ」および「数学A」より進んだ内容を学習する。 1 数列 2 統計的な推測						

科目	数学 C	単位数	2	受講年次	2・3 年次	履修条件	数学 I 完了
科目の内容	「数学 I」 および「数学 A」より進んだ内容を学習する。 1 ベクトル 2 平面上の曲線と複素数平面						

## 理科の科目

**注意！ 物理基礎・生物基礎・化学基礎のうち、1科目以上履修しなければなりません。**

科目	物理基礎	単位数	2	受講年次	2・3 年次	履修条件	
科目の内容	日常に起こる物体の運動や物理現象を、観察・実験などを通して探究し、それらの基本的な概念や法則を学ぶ。 ①運動の表し方 ②様々な力とその働き ③力学的エネルギー ④波 ⑤熱 ⑥電気 ⑦エネルギーとその利用 ⑧物理学が拓く世界						

科目	物 理	単位数	4	受講年次	3 年次	履修条件	物理基礎
科目の内容	運動とエネルギーについての基礎的な見方や考え方にに基づき、物体の運動を、観察・実験などを通して探究し、力と運動に関する概念や原理・法則を系統的に学ぶ。 ①様々な運動（平面内の運動／運動量／円運動 ほか） ②波（波の伝わり方／音／光） ③電気と磁気（電気と電流／電流と磁界） ④原子（電子と光／原子と原子核／物理学が築く未来）						

科目	化学基礎	単位数	2	受講年次	2・3 年次	履修条件	
科目の内容	化学と人間生活との関わり、物質の構成、物質の変化について、観察・実験などを通して探究し、化学理解の基礎を学ぶ。 ①化学と物質 ②物質の構成粒子 ③物質と化学結合 ④物質と化学反応式 ⑤化学反応（酸・塩基と中和／酸化と還元） ⑥化学が拓く世界						

科目	化 学	単位数	4	受講年次	3 年次	履修条件	化学基礎
科目の内容	気体・液体・固体の性質、化学反応に伴うエネルギーの出入り、化学平衡、無機物質や有機化合物の性質および反応について、観察・実験などを通して探究し、日常生活や社会と関連づけて学ぶ。 ①物質の状態とその変化 ②溶液と平衡 ③化学反応とエネルギー ④化学反応と化学平衡 ⑤無機物質 ⑥有機化合物 ⑦高分子化合物 ⑧人間生活の中の化学						

科目	<b>生物基礎</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	生物と遺伝子，生物の体内環境の維持，生物の多様性と生態系について，観察・実験などを通して探究し，生物理解の基礎を学ぶ。 ①生物の特徴 ②遺伝子とその働き ③神経系と内分泌系による調節 ④免疫 ⑤植生と遷移 ⑥生態系とその保全						

科目	<b>生物</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>生物基礎</b>
科目の内容	生物の進化，生命現象を支える物質の働き，生殖と発生，環境変化と生物の反応，生態系について，観察・実験などを通して探究し，それらの仕組みや反応を学ぶ。 ①生命の起源と細胞の進化 ②遺伝子の変化と進化の仕組み ③生物の系統と進化 ④細胞と分子 ⑤代謝 ⑥遺伝情報とその発現 ⑦発生と遺伝子発現 ⑧遺伝子を扱う技術 ⑨動物の反応と行動 ⑩植物の環境応答 ⑪個体群と生物群集 ⑫生態系						

## 保健体育の科目

科目	<b>スポーツ概論</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	運動実践や体力の向上を達成するために必要な運動の意義・必要性・効果や運動技能の構造などに応じた合理的な練習の仕方，生涯スポーツ設計などについて学習する。 1 スポーツと栄養 2 身体のつくり 3 体カトレーニング 4 テーピング						

科目	<b>スポーツⅠα</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	個人種目を中心とした競技を実施する。特に測定競技種目の特性を理解し，それぞれの種目の高度な技能や，審判法・競技の仕方などを学習する。 1 陸上競技 … 走・投・跳種目 2 その他の個人種目						

科目	<b>スポーツⅠβ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>スポーツⅠα</b>
科目の内容	個人種目を中心とした競技を実施する。特に測定競技種目の特性を理解し，それぞれの種目の高度な技能や，審判法・競技の仕方などを学習する。 1 陸上競技 … 走・投・跳種目 2 その他の個人種目						

科目	<b>スポーツⅡα</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>集団種目を中心とした競技を実施する。特に、ゴール型・ネット型などの球技の特性を理解し、それぞれ球技の高度な技能や審判法を理解し、競技の仕方などを学習する。</p> <p>1 体育館競技 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球</p> <p>2 グラウンド競技 ソフトボール、サッカー、ホッケー、テニス</p>						

科目	<b>スポーツⅡβ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>スポーツⅡα</b>
科目の内容	<p>集団種目を中心とした競技を実施する。特に、ゴール型・ネット型などの球技の特性を理解し、それぞれ球技の高度な技能や審判法を理解し、競技の仕方などを学習する。</p> <p>1 体育館競技 バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球</p> <p>2 グラウンド競技 ソフトボール、サッカー、ホッケー、テニス</p>						

科目	<b>スポーツⅣ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>現代的なリズムのダンス 基本的なステップや体の使い方を身につけ、音楽に合わせて大きく表現できるようにする。</p>						

科目	<b>軽スポーツ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>健康で明るく活力に満ちた生活を送るために、生涯を通しての軽スポーツのあり方を学習し、生活の中に運動を取り入れ実践する「力」を身に付ける。</p> <p>1 軽スポーツの意義 軽スポーツの文化と特性</p> <p>2 軽スポーツ実技 (1)ターゲットバードゴルフ (2)ペタンク (3)フリーテニス (4)ユニホック (5)グラウンドゴルフ (6)インディアカ (7)ソフトバレーなど</p> <p>3 試合と審判</p>						

## 芸術(音楽)の科目

科目	<b>音楽Ⅰ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>1・2年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>世界の様々な音楽を通じて、読譜力や基礎的な表現技能（発声法・奏法）を学習する。また簡単な創作とその演奏の経験や鑑賞などを学習する。</p> <p>歌唱・器楽・鑑賞のすべての分野に取り組む。</p> <p>1 歌唱 斉唱・二部合唱</p> <p>2 器楽 ギター奏法の基礎編</p> <p>3 鑑賞 音楽史 古典</p>						



科目	<b>音楽Ⅱ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	<b>音楽Ⅰ</b>
科目の内容	<p>音楽Ⅰで学んだ表現能力をより深め、個々にあった表現方法を学習する。 音楽劇の創作など発展的に音楽を学習する。</p> <p>1 歌唱 三部合唱・四部合唱 2 器楽 キーボード奏法の基礎編 3 鑑賞 音楽史 現代まで</p>						

科目	<b>音楽Ⅲ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>音楽Ⅱ</b>
科目の内容	<p>音楽Ⅱの内容を一層深め、歌唱・器楽演奏・創作・表現方法を学習する。歌唱・器楽の創造的表現の向上と鑑賞の能力を身に付ける。曲分析や音楽試験級など、真の芸術活動を体験し学習する。</p> <p>1 歌唱 アカペラについて 2 器楽 キーボード・ギター奏法の応用編 3 鑑賞 歌劇・ミュージカルについて</p>						

科目	<b>音楽理論α</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>音楽全般の基礎的な理論を理解し、楽譜の仕組み、音楽の仕組み、形式を学ぶ。</p> <p>1 音・譜表と音名 2 音符と休符・リズムと拍子 3 音程・音階</p>						

科目	<b>ソルフェージュα</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を養う。</p> <p>1 視唱Ⅰ 2 視奏Ⅰ 3 聴音Ⅰ</p>						

科目	<b>鑑賞研究</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>音楽作品や作曲家、演奏などについての鑑賞研究を通して、音楽に対する理解を深め、音楽や音楽文化を尊重する態度を養い、批評する能力を育てる。</p> <p>1 作品・作曲家に関する研究 2 地域や文化的背景に関する研究 3 音楽とメディアとの関わり 4 音楽批評</p>						

科目	<b>音楽理論β</b>	単位数	<b>1</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>音楽理論α</b>
科目の内容	<p>音楽全般の基礎的な理論を理解し、楽譜の仕組み、音楽の仕組み、形式を学ぶ。</p> <p>1 和音・楽式・記号について 2 和声法・対位法 3 演習</p>						

科目	<b>ソルフェージュβ</b>	単位数	<b>1</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>ソルフェージュα</b>
科目の内容	<p>音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を養う。</p> <p>1 視唱Ⅱ 2 視奏Ⅱ 3 聴音Ⅱ</p>						

科目	<b>演奏研究</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>音楽作品についての演奏研究を通して、演奏における客観性と多様性を理解し、音楽の様式を尊重して演奏する能力を養う。</p> <p>1 時代や地域による表現上の特徴を踏まえた解釈および演奏に関する研究。 2 作曲家の表現上の特徴を踏まえた解釈および演奏に関する研究 3 声や楽器の特徴を踏まえた解釈および演奏に関する研究。 4 音楽の解釈の多様性。</p>						

科目	<b>器 楽</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>弦楽器・鍵盤楽器に関する知識や技術を身に付け、音楽的表現を高める。 アンサンブルでは楽器の中から選択し技術を高めるとともに、楽器の音色を生かした表現の学習をする。</p> <p>1 キーボードアンサンブル 2 ギターアンサンブル 3 いろいろな楽器のアンサンブル</p>						

科目	<b>保育音楽α</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>発達段階の乳幼児における音楽教育の意義と基礎的な指導法を身に付ける。 乳幼児の発達段階と音楽教育の関わりを理解し、リトミックによる表現活動・伝承音楽・伴奏法を学習する。</p> <p>1 キーボード奏法 2 簡易伴奏法について 3 伝承音楽について</p>						

科目	<b>保育音楽β</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>保育音楽α</b>
科目の内容	<p>発達段階の乳幼児における音楽教育の意義と、実践的な指導法を身に付ける。 乳幼児の発達段階と音楽教育の関わりを理解し、リトミックによる表現活動・伝承音楽・伴奏法について学習した保育音楽αの内容をより発展的に学習する。</p> <p>1 キーボード奏法 2 伴奏法について 3 器楽合奏について</p>						

## 芸術(美術)の科目

科目	<b>美術Ⅰ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 1 平面の基礎学習 2 デザイン表現の作品制作 3 立体の作品制作 4 鑑賞						

科目	<b>美術Ⅱ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	<b>美術Ⅰ</b>
科目の内容	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。 1 絵画・彫刻、各種の表現方法による作品制作 2 デザイン作品制作 3 メディア表現、その他表現方法の研究 4 鑑賞						

科目	<b>美術Ⅲ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>美術Ⅱ</b>
科目の内容	美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成することを目指す。 1 絵画・彫刻、各種の表現方法による作品制作 2 デザイン作品制作 3 メディア表現、その他表現方法の研究 4 鑑賞						

科目	<b>工芸Ⅰ</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>1・2年次</b>	履修条件	
科目の内容	工芸の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。 1 陶芸 2 金属工芸 3 染め、ステンシル						

科目	<b>素描α</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。描画用具の使い方、基本的なものの見方、構図のとり方など、デッサンに必要な基礎知識を学習する。 1 デッサン演習 2 クロッキー演習 3 表現方法の研究						

科目	素描β	単位数	4	受講年次	3年次	履修条件	素描α
科目の内容	<p>対象のイメージや空間を把握し、造形表現の基礎となる観察力と描写力を高める。より対象を正確に捉える力を身に付け、確実な描写力を学習する。美術系受験に対応できる技術力の向上を目指し学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 デッサン演習</li> <li>2 クロッキー演習</li> <li>3 表現方法の研究</li> </ol>						

科目	構成α	単位数	4	受講年次	2年次	履修条件	
科目の内容	<p>造形的な創造活動の基礎となる平面構成、立体構成の理解を深める。形体や色彩の基礎について学び、多種の構成素材（色材、紙等）の特質を知り、作品制作を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 平面構成（色彩構成、ポスター制作）</li> <li>2 立体構成（紙立体制作等）</li> <li>3 鑑賞</li> </ol>						

科目	構成β	単位数	4	受講年次	3年次	履修条件	構成α
科目の内容	<p>造形的な見方・考え方を働かせ、専門的な美術に関する資質・能力を育成することを目指す。各自の進路に合わせた制作活動を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ポスター制作</li> <li>2 自由制作</li> </ol>						

## 芸術(書道)の科目

科目	書道Ⅰ	単位数	2	受講年次	1・2年次	履修条件	
科目の内容	<p>中学校までの書写能力を発展させ、芸術として書道を学習する。基礎的な書表現の能力を高め、内容豊かな書を表現する力を身に付ける。書のさまざまな美しさを学び、鑑賞することを通じて、書を愛好する心を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 書写から書道へ～用具、用材のいろいろ</li> <li>2 漢字の書～楷書・行書・隸書の古典に学ぶ 篆刻の学習（自分の印を作る）</li> <li>3 仮名の書～平安時代の古筆に学ぶ</li> <li>4 漢字仮名交じりの書～くらしの中に書を活かそう</li> <li>5 篆刻</li> </ol>						

科目	書道Ⅱ	単位数	4	受講年次	2・3年次	履修条件	書道Ⅰ
科目の内容	<p>書の古典の鑑賞を通して、書の持つさまざまな美しさを理解する力を伸ばすとともに、自己に合った創造的な表現能力を身に付ける。書の理論や伝統を学習し、作品制作の喜び・厳しさを体験することにより書と人について考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 鑑賞しよう</li> <li>2 漢字の書 ～ 隸書（木簡）、行書、篆書（金文・甲骨文）の臨書 条幅作品に挑戦（中国・日本の古典学習のまとめ）</li> <li>3 仮名の書 ～ オリジナルの料紙を作ろう 軸に仕上げよう（臨書から創作へ）</li> <li>4 漢字仮名交じりの書 ～ 自分のことばで書こう</li> <li>5 篆刻</li> </ol>						

科目	書道Ⅲ	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件	書道Ⅱ
科目の内容	<p>書道Ⅱをさらに発展させ、書の文化と伝統を学習する。また、作品制作を通して、個性豊かな、現代にふさわしい書のあり方の研究をする。</p> <p>1 鑑賞の切り口</p> <p>2 漢字の書を探求しよう～木簡レプリカを作る 条幅作品制作～隷書・行書・草書の臨書</p> <p>3 仮名の書を探求しよう ～さまざまな仮名の書表現に学ぼう</p> <p>4 漢字仮名交じりの書を探求しよう ～表装の工夫をしよう</p> <p>5 展示を工夫しよう ～卒業制作展に向けて</p>						

科目	書創作	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件	
科目の内容	<p>日本の伝統文化である「書」を生活の中に自由に取り入れることができるよう表現力を付ける。生涯にわたって「書」を愛好したい生徒に学んでほしい科目です。</p> <p>1 書を感じ枠を超える～道具と材料</p> <p>2 隷書、篆刻を知り、生活に活かす～表札、篆刻、ブックカバー</p> <p>3 書と絵で想いを伝えよう～絵手紙、年賀状、切り文字アート、カレンダー</p> <p>3 反古紙を使って暮らしを彩る～一閑張り、タペストリー</p>						

科目	実用書道	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件	
科目の内容	<p>手書きの文字の美しさと毛筆の魅力をあらためて見直し、親しむ心を身に付ける。まずは、硬筆書写検定3級（6月実施）合格に向けて、繰り返し練習する中で、ポイントを確認し力をつけていきましょう。</p> <p>1 書体と字形～美しい形・線、検定試験</p> <p>2 贈り物と儀礼の書</p> <p>3 手紙を書く</p> <p>4 年賀状を書く</p> <p>5 書を飾る</p> <p>6 賞状を書く</p>						

## 英語・外国語(中国語)の科目

科目	英語コミュニケーションⅠ	単位数	4	受講年次	2年次	履修条件	英語コミュニケーションⅠ
科目の内容	<p>英語コミュニケーションⅠの学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたり発表したりする能力を伸ばす。</p> <p>1 さまざまな題材（社会問題・芸術文化・モラル・物語・伝記など）について聞いたり読んだりして、その内容を理解する。また、理解した内容や、それに対する自分の考えについて話したり書いたり発表したりする。</p> <p>2 英語を理解したり書いたりするのに必要な文法的項目について系統的に学習する。</p>						

科目	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4	受講年次	3年次	履修条件	英語コミュニケーションⅡ
科目の内容	<p>英語コミュニケーションⅡの学習を踏まえ、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたり発表したりする能力を更に伸ばし、実際の社会生活において活用できる英語の能力を身に付ける。</p> <p>1 さまざまな題材について聞いたり読んだりして、その内容を理解する。また理解した内容やそれに対する自分の考えについて、話したり書いたり発表したりする。</p> <p>2 文法的な項目について正しい知識を得るために問題演習を行う。 ※進学希望者は履修することが望ましい。</p>						

科目	<b>論理・表現 I</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2 年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>積極的に英語でコミュニケーションを図り、情報や考えなどを伝える能力を養う。</p> <p>1 与えられた話題についてエッセイを書く。また、聞き手や目的に応じて簡潔に話す、また発表する。</p> <p>2 読み手や目的に応じて簡潔に書く。</p> <p>3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめて他者に伝える。</p>						

科目	<b>論理・表現 II</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3 年次</b>	履修条件	<b>論理・表現 I</b>
科目の内容	<p>論理・表現 I の学習を踏まえ、英語による表現力を伸ばす。また、大学受験に対応できる英語力の定着を目指す。</p> <p>1 与えられた条件に合わせて表現したり、伝えたい内容を整理して論理的に文章を書いたりする。</p> <p>2 主題を決め、様々な種類の文章を書く。</p> <p>3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表したり討論したりする。</p> <p>4 英文を書く手助けとなるイディオムや構文・文法などについて、問題演習を行いながら学習する。</p>						

科目	<b>英語会話</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3 年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>積極的に英語でコミュニケーションを図り、身近な話題について会話する能力を養う。</p> <p>1 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。また、関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。</p> <p>2 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどを場面や目的に応じて適切に伝える。</p> <p>3 海外での生活に必要な基本表現を使って会話する。</p>						

科目	<b>中国語 α</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3 年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>中国語の文法の基礎を学ぶとともに、日常生活での基本的な表現を学ぶ。</p> <p>1 テキストに沿って学習を進め、中国語の発音、基本的な文法事項及び表現を学ぶ。</p> <p>2 身近な日常生活の場面を設定して、中国語で簡単な日常会話ができるようにする。</p>						

科目	<b>中国語 β</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3 年次</b>	履修条件	<b>中国語 α</b>
科目の内容	<p>中国語 α をさらに発展させ、中国語の文法の基礎をより深く学ぶとともに、中国語のより複雑な表現を学習する。</p> <p>1 中国語 α に続いて文法の基礎を学び、中国語文の基本構文が使えるようにする。</p> <p>2 身近な日常場面を設定し、より実践的な中国語会話力を養う。</p> <p>3 中国語の平易な読み物が読めるようにする。</p>						

科目	異文化理解	単位数	2(+2)	受講年次	2年次	履修条件	
科目の内容	<p>英語を通じて、外国の事情や異文化について理解を深めるとともに、異なる文化をもつ人々と積極的にコミュニケーションを図るための態度や能力の基礎を養う。</p> <p>1 海外の学校との交流を念頭におき、日本の文化・生活・習慣などの紹介ができるようにする。</p> <p>2 外国の文化・生活・習慣などについて学習し理解を深める。</p> <p>3 海外研修を行い、異文化を実体験する。 (2週間程度のオーストラリア研修)</p>						

科目	時事英語	単位数	4	受講年次	3年次	履修条件	コミュニケーション英語Ⅱ
科目の内容	<p>新聞、雑誌、テレビ番組、映画、情報通信ネットワークなどの様々なメディアに用いられる英語を理解するとともに、必要な情報を選び活用する基礎的な能力を養う。</p> <p>また、情報を受け取るだけでなく、時事的な内容に基づく発表や討論も行う。題材は多岐にわたり、読み取る英語の分量や聞く英語の速度は、平易なレベルから非常に高いレベルまでさまざまである。</p>						

科目	英語演習	単位数	1	受講年次	2年次	履修条件	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ(同時履修)
科目の内容	<p>英語コミュニケーションⅠ・Ⅱの内容を深め、様々なテーマやタイプの英語を読解する力を身に付ける。読解力向上に必要な語彙力、まとまりのある文章を読む力を自発的に向上させようとする事ができる生徒の受講を求める。</p> <p>共通テスト利用の受験や難関大学、外国語に関する学部を志望する生徒、また英検を受ける確約のある生徒の受講が相応しい。</p>						

科目	英語探究	単位数	1	受講年次	3年次	履修条件	英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ(同時履修)
科目の内容	<p>英語コミュニケーションⅡ・Ⅲの内容を深め、様々なテーマやタイプの英語を読解する力を身に付ける。読解力向上に必要な語彙力、まとまりのある文章を読む力を自発的に向上させようとする事ができる生徒の受講を求める。</p> <p>共通テスト利用の受験や難関大学、外国語に関する学部を志望する生徒、また英検を受ける確約のある生徒の受講が相応しい。</p>						

## 家庭・福祉の科目

科目	保育基礎	単位数	4	受講年次	2・3年次	履修条件	
科目の内容	<p>保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子ども一人一人の発達に適した保育環境の整備や地域保育・子育て支援に寄与できる資質能力を育成する。</p> <p>1 子どもの保育 2 子どもの発達 3 子どもの生活と養護 4 子どもの文化 5 子どもの福祉</p>						

科目	保育実践	単位数	4	受講年次	3年次	履修条件	保育基礎
科目の内容	<p>保育基礎の学習を踏まえ、保育の重要性を深く理解し、子どもの発達を促す技術を身に付けるとともに、子どもの健やかな発達を促すための保育について考え、よりよい保育の創造や地域保育・子育て支援に寄与できる資質・能力を育成する。</p> <p>1 子どもの表現活動と保育 2 子育て支援と保育 3 保育の活動計画・保育実習</p>						

科目	<b>ファッション造形基礎</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	被服の構成, 被服材料の選択, 洋服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を活用し, ファッションを造形するための資質・能力を育成する。 1 衣服の構成 2 衣服の素材 3 洋服製作の基礎						

科目	<b>フードデザイン</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートなどフードデザインに必要な知識と技術を活用し, 食生活を総合的にデザインするとともに, 家庭や地域の食育の推進に取り組むことのできる資質・能力を身に付ける。 1 食生活と健康 2 栄養素のはたらきと食事計画 3 食品の特徴・表示・安全 4 調理の基本 5 調理様式とテーブルコーディネート 6 フードデザイン実習 7 食育						

科目	<b>栄養</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	人体と栄養との関係を理解し, 食事や食品に含まれる栄養素について学ぶ。栄養に関する知識を健康の維持・増進に結び付けた献立作成, 調理に生かすことができる資質・能力を身に付ける。 1 人体と栄養 2 栄養素の機能と代謝 3 食事摂取基準と栄養状態の評価 4 ライフステージと栄養 5 生理と栄養 6 病態と栄養						

科目	<b>社会福祉基礎</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	社会福祉に関する基礎的な学習を行い, 社会福祉の意義や役割を理解し, 福祉社会の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 1 社会福祉の理念と意義 2 社会福祉の歴史と次代の展望 3 生活を支える社会福祉・社会保障制度 4 人間関係とコミュニケーション 5 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度						

科目	<b>介護福祉基礎</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など, 介護の意義と役割を学習する。また, 介護を適切に行う能力と態度を身に付ける。 1 介護の意義と役割 2 介護福祉の担い手 3 介護を必要とする人の理解と支援 4 介護における安全確保と危機管理						



科目	<b>こころとからだの理解</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を学習し、介護実践に適切に活用できる能力を身に付ける。 1 こころとからだの基礎的理解                      2 生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 3 発達と老化の理解                                      4 認知症の理解 5 障害の理解						

科目	<b>生活支援技術</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2,3年次</b>	履修条件	
科目の内容	自立生活を支援するための介護の役割を学習し、基礎的な介護の知識と技術を身に付ける。 1 生活支援の理解                                      2 自立に向けた生活支援 3 緊急時・災害時の支援                              4 終末期の支援 5 医療的ケア						

## 工業(共通)の科目

科目	<b>工業技術基礎</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	工業系列の各分野における基礎的な技術を、総合的な実習によって体験し、「ものづくり」の楽しさを身に付ける。 1 測量・電気基礎の学習                              2 溶接加工技術の学習 3 木材加工技術の学習						

## 工業(メカトロニクス系列)の科目

科目	<b>メカトロニクス実習α</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	メカトロニクスに関する基礎的な技術を、実験・実習を通して学習する。実際に機械装置を操作し主体的に対応できる能力を身に付ける。 1 旋盤による金属切削加工                              2 ヤスリ等による手仕上げ加工 3 溶接技術の習得Ⅰ                                      4 リレーシーケンスによる制御						

科目	<b>メカトロニクス実習β</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>メカトロニクス実習α</b>
科目の内容	メカトロニクス実習αで学習した基礎的な技術を基に、さらに高度なメカトロニクス技術をもものづくりや実験・実習を通して総合的に学習する。産業界で役立つ実践的な技術に対応できる能力を身に付ける。 1 旋盤による精密加工                                      2 マシニングセンタ (CAD/CAM) 3 溶接技術の習得Ⅱ                                      4 鋳造技術の習得						

科目	<b>メカトロニクス課題研究</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>メカトロニクス実習α</b>
科目の内容	メカトロニクス実習αで学習した基礎的な技術や応用的な技術をもとにして、具体的なものづくりの「テーマ」をグループごとに設定する。各グループは、そのテーマに沿って技術的な課題やチームワーク的な課題や生産管理的な課題などに自主的に問題を解決し、テーマに合ったものづくりや資格取得ができる総合的な技術力を身に付ける。更に、その成果をまとめる能力も身に付ける。						

科目	<b>メカトロニクス製図α</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	工業の各分野において設計者と製作者の間の情報を伝えるために必要な製図の基礎的な知識と技術を、実技を通して学習する。 1 製図の基礎練習 製図に用いる線と文字、図示方法 2 製作図の書き方 図面の様式、図面の作り方、寸法・記号の記入方法 3 機械要素の製図 ボルト・ナット、軸受、歯車など						

科目	<b>メカトロニクス製図β</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>メカトロニクス製図α</b>
科目の内容	メカトロニクス製図αで学習した基礎的な技術をさらに伸ばす学習をする。また、機械装置や歯車の設計を考えるなど、機械設計に必要な能力を身に付ける。 1 基礎設計と図面作成（歯車など） 2 機械装置の設計計算と製作図面の作成（手巻きウインチ）						

科目	<b>機械工作</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	工業製品は、金属・プラスチック・セラミック・複合材料などいろいろな材料からできている。これらの材料の特徴・生産方法やものをつくる機械加工技術について学習する。 1 工業計測と測定 2 機械材料 3 機械工作法 4 生産計画と管理						

科目	<b>機械設計</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	機械などを設計するのに必要とされる基礎的な知識と技術を学習する。 1 機械と設計の考え方 2 機械に働く力と運動・エネルギー 3 材料の強さと形状 4 歯車、ねじ、ブレーキなどの機械要素 5 簡単な機械の設計 テーマを決めて、情報収集からメカニズムの決定、各部品図の作成までを実際に行う						

科目	<b>電子機械</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	機械技術と電子技術が融合したメカトロニクス技術の概要を学習する。とくに、ロボットのメカニズムやセンサとコンピュータ制御について仕組みや原理を中心に学習する。 1 電子機械の概要と機械の機構 2 センサとアクチュエータの基礎 3 シーケンス及びコンピュータ制御の基礎 4 簡単な電子機械の設計						

科目	<b>自動車工学</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	自動車の構造と機能に関する知識と適切な取り扱い方法及び整備方法を習得する。 1 人と自動車 2 自動車の原理 3 自動車用エンジン 4 動力伝達装置、走行装置、かじ取り装置、ブレーキ装置 5 走行と性能 6 自動車の電気・電子技術						

科目	<b>生産技術</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>現代産業を支えている電気エネルギーや生産工程に必要な電気・電子の基礎的な知識を学習する。また、より良い製品を作りだすシステムづくりについて学習する。</p> <p>1 直流回路，磁気と静電気 2 交流回路と電気設備 3 電子回路，情報機器 4 計測，制御技術 5 機械技術と生産管理システム技術</p>						

科目	<b>機械技術基礎</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>ものづくりの基礎である機械技術について，実技と理論を融合して学習する。また，実際に工作機械を安全で効率的に活用できる能力を身に付ける。</p> <p>1 安全作業 2 金属切削作業の概要 3 工作機械の構造と機能 4 工作機械の切削条件と切削 5 その他の特殊機械</p>						

## 工業(環境テクノロジー系列)の科目

科目	<b>環境テクノロジー実習α</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>環境に関する計測・測量等を行い，実験・実習機器の使用方法や基礎的な知識を学ぶ。最大10人1グループでパート実習を行い。土木・化学・建築分野の各課題を行い，レポートや成果品を提出する。</p> <p>1 測量実習 トランシット，平板，レベル測量 2 材料実習 土質試験，骨材の強度ならびに組織試験 3 建築実習 木材加工，CAD実習，計画実習 4 化学実習 廃油石鹼の製作，中和反応試験</p>						

科目	<b>環境テクノロジー実習β</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>環境テクノロジー実習α</b>
科目の内容	<p>実習αの学習を基礎として，環境に関する総合的な技術を，実験・実習を通して理解するとともに，住みやすい環境づくりを学習する。</p> <p>1 測量実習 トータルステーションによる測量実習 2 計画実習 照度実験，騒音実験 3 造形実習 住宅のパース，木製家具とインテリア 4 化学実習 CODの測定</p>						

科目	<b>環境テクノロジー課題研究</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>環境テクノロジー実習α</b>
科目の内容	<p>グループや個人で系列に関する学習を生かしたテーマで1年間研究に取り組み，その研究成果を環境テクノロジー系列の2年次・3年次生の前で発表する。</p> <p>(テーマ例)</p> <p>1 シュレッダーゴミの有効活用 2 緑化コンクリートの研究と実践応用 3 岐阜市内の地域公園の設計 4 総合学園高校のキャンパス計画</p>						

科目	<b>環境テクノロジー製図α</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	製図の基本を建築・土木課題の模写から学ぶ。製図から正しく情報を得ることができ、また自分で正しく表現できる技術を身に付け、正確にしかも明瞭・迅速に描くことができることを学習します。						
内容	1 製図の基礎知識		2 作図基本練習				
	3 課題作成						

科目	<b>環境テクノロジー製図β</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>環境テクノロジー製図α</b>
科目の内容	製図αで身に付けた作図の基礎的技術や知識を使い、課題の製図を構想しCADなどを利用するとともに、表現力を身に付けプレゼンテーション能力を学習します。課題は、各系に関連する内容の課題を実施。図面作成とともに、模型製作なども行う。						

科目	<b>測量</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	測量の分類、測量の方法や計算について知識を得るとともに、機器・器具の取扱い上の注意について学習する。						
	1 距離測量	7 基準点の測量					
	2 角測量	8 地形測量					
	3 トラバース測量	9 路線測量					
	4 水平測量	10 河川測量					
	5 測量の誤差	11 写真測量					
	6 面積および体積						

科目	<b>土木施工</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	土木構造物を計画的に安全につくるため、材料の特質を生かしたいろいろな施工技術と法規の基礎的な内容について学ぶ。						
	1 土木材料	6 トンネル工					
	2 土工	7 ダム・河川・港湾					
	3 コンクリート工	8 工事のしくみと管理					
	4 基礎工	9 土木法規					
	5 舗装工						

科目	<b>土木構造設計</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	土木構造物を構成する部材の力学的性質を調べ、構造物を設計するための基礎理論を学習する。						
	1 構造物と力	2 梁を解く					
	3 柱・トラス・ラーメン	4 鋼構造の設計					

科目	<b>土木基盤力学</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	土や水の物理的な性質や力学的な性質を学習し、土や水に関する知識と技術について学ぶ。また、実務における各種土木構造物の基礎の設計や施工に役立つ方法について学ぶ。						
	1 水理学の基礎						
	2 土質力学の基礎						

科目	<b>社会基盤工学</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	土木工事は多くの人々の幸福と生活向上のための仕事で、その工事の成果は地球上に残り、子や孫の時代まで利用される。						
内容	1 国土の開発	2 交通					
	3 治水	4 利水					
	5 都市と環境						

科目	<b>建築構造</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	建築物の構造及び建築材料に関する基礎的な知識と技術を習得して、実際に活用する能力と態度を学ぶ。						
内容	1 建築構造のあらまし	2 木構造					
	3 鉄筋コンクリート構造	4 鋼構造					

科目	<b>建築施工</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	建築施工に関する基礎的な知識と技術を習得して、実際に活用する能力と態度を学ぶ。						
内容	1 建築施工のあらまし						
	2 工事の準備						
	3 地面から下の工事・土木工事・事業工事						
	4 駆体の工事						
	5 仕上げの工事・設備の工事						
	6 工事契約と施工管理						

科目	<b>建築計画</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得して、建築物を合理的に計画し、設計する能力と態度を学ぶ。						
内容	1 建築と環境						
	2 住宅の計画						
	3 建築の移り変わり						

科目	<b>建築構造設計</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	建築構造設計に関する基礎的な知識と技術を習得して、構造物の合理的に設計する能力と態度を学ぶ。						
内容	1 建築物に働く力	2 力の基本					
	3 構造物と荷重および外力	4 反力					
	5 安定・静定	6 静定構造物の部材に生ずる力					

科目	<b>建築法規</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	建築関係法規に関する基礎的な知識と技術を習得して、建築物の設計、施工、管理などに活用する能力と態度を学ぶ。						
内容	1 建築法規のあらまし						
	2 個々の建築物に関わる規定						
	3 良好な都市環境をつくるための規定						
	4 手続きなどの規定						
	5 各種関係法規						

科目	<b>地球環境化学</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>地球の誕生から現在の地球環境がつくりあげられてきた過程と物質の循環について学ぶとともに、地球環境問題について考える。</p> <p>1 地球と環境と人間 2 地球環境 3 資源の利用と環境問題 4 環境調査 5 環境の保全技術 6 環境保全と管理</p>						

## 工業(情報システム系列)の科目

科目	<b>情報システム実習α</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>電気・電子およびコンピュータ分野に関する基本的な技術を、実際の実習を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力を身に付ける。</p> <p>1 基板製作実習 2 プログラム実習 (VBA) 3 ものづくり実習 (ミニロボット I) 4 マルチメディア実習 (動画制作) 5 電気工事実習 I</p>						

科目	<b>情報システム実習β</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>情報システム実習α</b>
科目の内容	<p>コンピュータ分野および制御に関する応用的な技術を、実際の実習を通して総合的に習得し、技術革新に主体的に対応できる能力を身に付ける。</p> <p>1 制御実習 (リレーシーケンス) 2 ものづくり実習 (ミニロボット II) 3 マルチメディア実習 (ポスター) 4 AutoCad Fusion360 (二次元 Cad 3DCad) 5 電気工事実習 II</p>						

科目	<b>情報システム課題研究</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>情報システム実習α</b>
科目の内容	<p>情報システム実習で学習した (する) 基礎的な技術や応用的な技術をもとにして、グループごとに「テーマ」を設定し、研究・制作を通してコンピュータ分野および制御に関する実践的かつ発展的な技術を習得する。更に技術革新に主体的に対応できる能力を身に付ける。また、その成果をまとめ、発表する能力も身に付ける。</p> <p>1 アプリ制作 2 マルチメディア作品 (映像・写真・ポスター) の制作 3 ホームページの制作</p>						

科目	<b>電気回路α</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>電気に関する基礎的な知識と技術を習得し、電氣的諸量の相互関係や実際に活用する能力と態度を、実験・実習による体験的な学習を通じて身に付ける。</p> <p>1 直流回路 2 磁気と静電気 3 交流回路 4 半導体と電子回路 5 電気計測 6 制御の基礎 7 コンピュータによる制御の基礎 8 電気技術の基礎</p>						

科目	<b>電気回路β</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>電気回路α</b>
科目の内容	<p>電気基礎αで学んだ内容を発展させ、電気工事に関する資格取得を目指すなど、実社会で活用できる能力を身に付ける。</p> <p>1 制御の基礎 2 コンピュータによる制御の基礎 3 電気技術の基礎 4 資格検定の学習</p>						

科目	<b>工業情報数理</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>電子情報に関する基礎的な知識と技術を習得し、論理回路や制御に関する知識や技術技能を幅広く学習する。</p> <p>1 コンピュータの電子回路 2 コンピュータの構成と機能 3 コンピュータ制御 4 コンピュータの利用と電子情報技術</p>						

科目	<b>電子技術</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>電気基礎α</b>
科目の内容	<p>電子の基礎より、アナログ・デジタル・通信・画像・音響・計測の原理や構成などの知識や技術技能を幅広く学習する。</p> <p>1 半導体素子                      2 アナログ回路 3 デジタル回路                    4 電気通信 5 画像通信                         6 音響機器 7 電子計測の基礎</p>						

科目	<b>プログラミング技術</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>Windowsなどのオペレーティングシステムを構築しているプログラム言語Cについての学習を通じて、プログラミング命令やプログラムの作り方を身に付ける。</p> <p>1 実行可能なプログラムの作成方法の学習 2 各種命令・演算子の学習 3 関数の使い方の学習 4 構造化プログラミングの学習</p>						

科目	<b>ハードウェア技術</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>プログラミング技術</b>
科目の内容	<p>コンピュータの構成、論理回路、データの表し方やデータ保存の方法、CPUの仕組みについて学習する。</p> <p>1 コンピュータを構成するいろいろな論理回路の扱い方 2 コンピュータの取り扱う数値データ・文字データの扱い方 3 コンピュータの動作原理とCASL II言語 4 コンピュータ制御 5 コンピュータ通信とネットワーク 6 コンピュータ信頼性の評価方法</p>						

科目	ソフトウェア技術	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件	プログラミング技術
科目の内容	コンピュータを動かすために必要なソフトウェアを効率良く動作させる技術や、データの管理方法について学習する。						
内容	1 ソフトウェアの基礎			2	オペレーティングシステム		
	3 ソフトウェアパッケージの運用			4	データベースの設計と運用		
	5 ネットワークソフトウェアの運用			6	情報処理システムの管理		

科目	マルチメディア技術α	単位数	4	受講年次	2・3年次	履修条件	
科目の内容	マルチメディアの基礎知識を学ぶと同時に、メディア素材（音声や画像等）をコンピュータへ取り込む専門知識や、加工・編集する技術を身に付け、それを活かすデザインの知識・技術を学習する。						
内容	1 コンピュータグラフィックスの基礎			2	画像による表現（フォトショップ・イラストレーターによる作品制作）		
	3 表現の基礎				映像による表現（premiereによる映像作品制作）		

科目	マルチメディア技術β	単位数	4	受講年次	3年次	履修条件	マルチメディア技術α
科目の内容	マルチメディア技術αで学んだことを応用して、インターネットを利用した情報発信技術（ホームページデザイン）や、映像に関するデザイン技術を身に付ける。						
内容	1 インターネット・ホームページによる表現						
	2 マルチメディア応用システム						
	3 アニメーション制作						

科目	コンピュータグラフィックスα	単位数	2	受講年次	2・3年次	履修条件	
科目の内容	コンピュータグラフィックスの基礎・基本を学ぶと同時に、3次元画像についての技術を身に付ける。						
内容	1 コンピュータグラフィックスの基礎			2	技術の基礎		
	3 表現の基礎			4	3次元CGの制作		

科目	コンピュータグラフィックスβ	単位数	2	受講年次	3年次	履修条件	コンピュータグラフィックスα
科目の内容	コンピュータグラフィックスαで学習した3DCG制作の基礎的な技術をもとにした、より高品質な作品づくりを通してコンピュータグラフィックスに関する実践的かつ発展的な技術を習得する。						
内容	1 3次元データ制作と造形物の出力						
	2 3次元CGアニメーションの制作						

## 商業（観光ビジネス系列）の科目

科目	ビジネス基礎	単位数	4	受講年次	2年次	履修条件	
科目の内容	ビジネスに関する基礎的な知識と技術を習得し、経済社会の一員としての望ましい心構えを身に付ける。						
内容	売買取引で用いる用語や帳票等を実際に使い、模擬実習を行う。表計算ソフトの活用方法を学ぶ。						
	1 商業の学習ガイダンス			2	ビジネスとコミュニケーション		
	3 ビジネスと売買取引			4	経済と流通の基礎		
	5 企業活動の基礎						



科目	<b>ビジネス系課題研究</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>ビジネス基礎</b>
科目の内容	<p>簿記やビジネス基礎で学習した（する）基礎的な技術や応用的な技術をもとにして、自らの自己実現に必要なスキルを身につける</p> <p>1 企業の財務環境の分析調査 2 金融に関する知識の理解と習得 3 各種高度資格への取り組み</p>						

科目	<b>観光系課題研究</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>ビジネス基礎</b>
科目の内容	<p>簿記やビジネス基礎で学習した（する）基礎的な技術や応用的な技術をもとにして、自らの自己実現に必要なスキルを身につける</p> <p>1 観光資源の分析調査 2 金融に関する知識の理解と習得 3 各種高度資格への取り組み</p>						

科目	<b>ビジネスコ・コミュニケーション</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>ビジネス文書</b>
科目の内容	<p>ビジネス文書で培った知識技能を生かしてビジネスで必要なコミュニケーションを高める。また、ビジネス上で必要になってくるマナーについて学習をすすめる、知識や技能を身につける。</p> <p>1 ビジネスとコミュニケーション 2 ビジネスマナー 3 ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション 4 ビジネスと外国語</p>						

科目	<b>マーケティング</b>	単位数	<b>2</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>ビジネス基礎</b>
科目の内容	<p>マーケティングに関する知識と技術を習得し、マーケティングの意義や役割について理解するとともに、マーケティング活動を計画的・合理的に行う能力と態度を身に付ける。</p> <p>1 現代市場とマーケティング    2 市場調査 3 消費者の購買行動            4 商品計画 5 価格の決定                      6 販売経路と販売促進 7 調査、実習課題</p>						

科目	<b>商品開発と流通</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>ビジネス基礎・ビジネス文書</b>
科目の内容	<p>ビジネス基礎とビジネス文書で培った知識技能を生かして商品の開発と流通に関する知識と技術を習得し、意義や役割について理解を深める。また、実践的な学習の中で、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につける。</p> <p>1 商品開発と流通の概要    4 商品の開発 2 商品の企画                5 商品の販売 3 事業計画の立案           6 新たな展開</p>						

科目	<b>観光ビジネス</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>観光に関する基礎的な知識を幅広く学習し、生活の中における観光の持つ重要性を理解する。観光産業に携わる者としてのビジネスマナーを身に付けるとともに、観光地の調査研究をするなど主体的に活動する能力や態度を身に付ける。</p> <p>1 観光を学ぶ意義                      2 観光の様々な効果  3 観光に関わる言葉                    4 観光のしくみ  5 観光資源と観光対象                6 観光産業の構成と特徴  7 様々な観光ビジネス                8 観光と情報  9 観光政策と観光行政                10 観光とマーケティング</p>						

科目	<b>簿記</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>企業における取引の記録・計算・整理に関する知識と技術を習得し、簿記の基礎的な仕組みについて学習し、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を身に付ける。</p> <p>1 簿記の基礎                      2 取引の処理  3 決算                                4 会計帳簿と帳簿組織  5 進んだ決算整理</p>						

科目	<b>財務会計 I</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>簿記</b>
科目の内容	<p>簿記の発展的な学習を行う。</p> <p>1 特殊な取引の記帳  2 本支店会計  3 複合仕訳帳  4 伝票  5 株式会社の記帳</p>						

科目	<b>原価計算</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>3年次</b>	履修条件	<b>簿記</b>
科目の内容	<p>簿記の発展的な学習を行う。</p> <p>1 原価計算の基礎  2 個別原価計算  3 総合原価計算  4 標準原価計算  5 直接原価計算</p>						

科目	<b>ビジネス文書</b>	単位数	<b>4</b>	受講年次	<b>2・3年次</b>	履修条件	
科目の内容	<p>ビジネスの諸活動に必要なビジネス文書に関する知識と技術を習得し、機器の操作に習熟するとともに、ビジネスの諸活動におけるビジネス文書の活用方法を理解する。</p> <p>1 ビジネス文書の役割                2 ビジネス文書の構成  3 社内文書の作成                      4 社外文書の作成  5 文書情報の活用                      6 電子メールの活用  7 ビジネスの実務                      総合演習課題</p>						